
殉情詩集～名も無き人～

フェイクファー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殉情詩集（名も無き人）

【Nコード】

N7098Z

【作者名】

フェイクファー

【あらすじ】

殉情詩集の第二段です。今回のテーマは「無常時代」です。

タイヤ

タイヤ

道ゆくタイヤは命に似ている
回り廻って止まらない
生命の狂気に似ている

滑るタイヤは僕に似ている
過ちを繰り返し繰り返す
罪と償いに似ている

汚れたタイヤは地球に似ている
回っている、僕たちでさえも
回り続ける、汚れながらも
運び続ける、愚か者たちを

嫌な音がして
急にタイヤが止まる

命も私も地球も何も、
急に

音がしなくなつたみたい

今と昔

今と昔

「なにがウケるか」

「なにが儲かるか」

「なにが普通か」

「なにが楽か」

今、

この真実に耳をかたむけると

私は鳥肌がたつのを感ず

「なにが楽しいか」

「なにが突き詰められるものか」

「なにが滑稽か」

「なにが変か」

昔、

この真実に耳をかたむけていたとき

私は自然に口元のゆるむのを感じました

時代はめぐって行くのでしょ

無情に陰惨に徒に

それでいていくらかの光を持って

それにしても

生きにくい時代になつたなあ

あるもの

あるもの

地球が誕生してすぐに

一人だけ人間が生まれたとします

彼はタイムカプセルとして、

あるものを埋めました

それから古生代、中生代、新生代……

巡りに巡って平成まできます

その都度タイムカプセルの継承者が一人いて、

平成の継承者がもし私だったなら

その箱を開けます

「あるもの」、多分

核兵器の設計図かもしれませんね

自己顯示慾

自己顯示慾

自己顯示によく似た僕
の笑顔
見るも無惨で鏡を壊す

街をいく
テレビをつける
人と話す

自己顯示慾の世界が
広がっていた

* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *

せのび

せのび

命が芽生える　せのびする
せの高い母の声を聴き
光をめいっばい浴びて
まだ肌寒い森のーコマ
若いわたしは愛を感じる

時がたつ　せのびする
風をたくさん受けて
せの高い母が勇気づける
わたしは微笑む　あくびする

時がたつ　また時がたつ
騒がしい季節がすぎて
せの高い母はもういない
かわりに彼がせの高い
森の大人になつた
彼は涙を流す

老いたわたしは哀を感じる　ただただ時代を恨みながら

それからも時がたつ　せのびする
わたしはもういない
彼は新しい命を真下に感じながら
せのびするようにと
笑顔で呼びかけてる

メリーゴーランド

メリーゴーランド

メリーゴーランドに乗ってたら
過去へ過去へとさかのぼりました
若返って 若返って
気づいたらまだ十五、六の若者

ああ、なんて良い顔をしているのだろう
悪事を企てよう
そう

メリーゴーランドのスピードをものすごく速めてしまおう
途中ポケットから
いろいろなガラクタが落ちてることに気づきません

そして速めたらいつしか、
シルクハットさえ重い老紳士
降りますか、
やがて歩き出したわたし
何も入っていないポケットに
手を突っ込みながら

名も無き人

名も無き人

駅の改札口から

水みたいに流れこんでくるとす黒いオーラ

目が細い、

なんか人間っぽくないな

そしてその生き者は言った

「仕事なんだよ」

そしてその生き者は喜んだ

「安定してるよ」

やがてその生き者は老いた

「退職します」

それから彼は自分を探した

今までの略歴を

震える手で書き出した

ついに最期その廃れた心は思った

「私に名前はない」と

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7098z/>

殉情詩集～名も無き人～

2012年1月11日07時45分発行